

鐵零

1/8SCALE

RACING BUGGY ZERO

ドーム・ゼロ

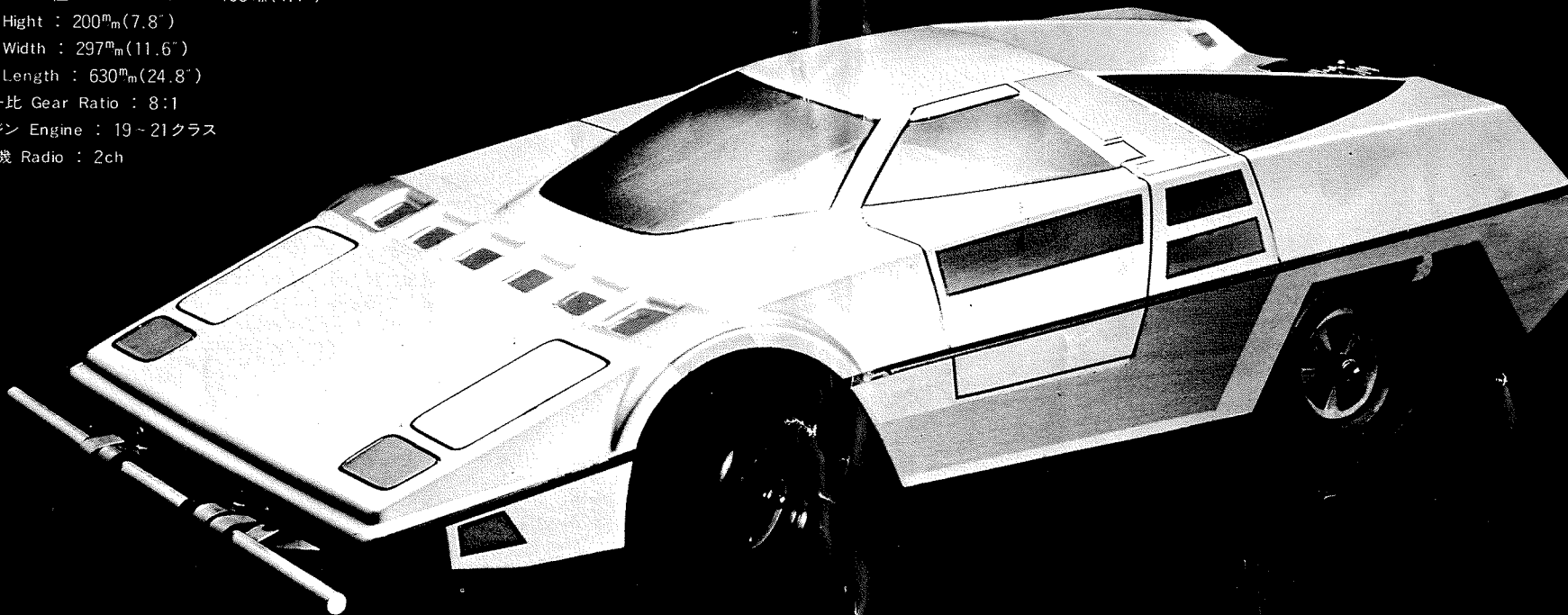
DOME-O

© DOME CO., LTD. 1978

組み立て説明書



- ホイールベース Wheel Base : 290^m(11.4")
- フロントトレッド Front Tread : 230^m(9.0")
- リアートレッド Rear Tread : 220^m(8.6")
- フロントタイヤ径 Front Tire Dia : 96^m(3.7")
- リアータイヤ径 Rear Tire Dia : 105^m(4.1")
- 車高 Hight : 200^m(7.8")
- 車巾 Width : 297^m(11.6")
- 車長 Length : 630^m(24.8")
- ギヤー比 Gear Ratio : 8:1
- エンジン Engine : 19~21クラス
- 無線機 Radio : 2ch



このたびは弊社製品1/8スケール童夢一零を御買い上げくださりましてありがとうございます。この説明書は、あなたの愛車を常に最良の状態に保ち、安全で楽しい走行を行っていただくために、正しい組立て方と、取扱い方について説明しております。最後までよく読んで構造を頭に入れ、説明書の順に組み立てて下さい。

ヒロボー1/8キット主要諸元

ホイールベース	310mm
フロントトレッド	230mm
リアトレッド	220mm
フロントタイヤ径	96mm
リアタイヤ径	105mm
車高	200mm
車幅	297mm
車長	630mm
ギヤ比	8 : 1
エンジン	19~21クラス
無線機	2ch

特徴

- ① ロードに適したショックアブソーバー効果を選択できる本格派オフロードマシン!
- ② ショックアブソーバー内蔵 (特許出願中)
※フロントはオプション仕様
- ③ 四輪独立懸架方式
- ④ オール金属精密ギヤ (焼入スパイラル)

組立に必要な工具

ペンチ	大・小	キリ・ヤスリ
スパナ		エポキシ
⊕ドライバー		瞬間接着剤
ナイフ		塗装セット

走行に必要なもの

エンジン・プラグ
バッテリー・燃料
十字レンチ (プラグレンチ)
電源コード
スターターロープ

適合エンジン

OS21FSR	ハイネス
HGK21	フジ
エンヤ19X	その他

実車・DOME-O 主要諸元

全長	3,980mm	トレッド (前)	1,400mm
全高	980mm	" (後)	1,450mm
全幅	1,770mm	最低地上高	130mm
ホイールベース	2,400mm	重量	920kg
シャーシ	スチールモノコック		
ボディ	FRPセミモノコック		
サスペンション (前)	ダブルウィッシュボーン		
" (後)	"		
ステアリングギヤボックス	ラック&ピニオン		
ブレーキ (前)	ガーリングAR-5/ベンチレーティッドディスク		
" (後)	ガーリングAR-6		
ダンパー	カヤバ製		
タイヤ (前)	ダンロップ185/60V R13		
" (後)	ダンロップ255/55V R14		
エンジン	2800cc 145HP		
ミッション	ZF・5DS-25/2		

DOME-O の特徴

自動車における機能的美しさを追求した結果、凶らずも基本的にレーシングマシンによく似たレイアウトが生まれました。それに肉付けをし基本性能を確保しながら一般乗用車に近づける方法をとった為、全高は980mmと乗用車としては世界で最も低く、風洞実験を重ね決定された形状は空気抵抗係数C_d=0.37の数字を生み出しました。その他空気抵抗を減らす為に重量配分の問題もあり、前輪のホイール径を13in、後輪を14in、に設定し、エアインテーク、アウトレットを小さくする為に、東洋ラジエーター製バキュームプレズイング製法によるコルゲートタイプラジエーターを使用しています。

ボディの贅肉をとりさる為シート位置をより中心線に近く配置し、シフトレバーもツインチューブ上におかれています。全高を下げる為にシート腰掛け部分をフロアパネルと一体化し、ちょうどクロスメンバーの形を成し十分なヘッドクリアランスとシャーシ剛性を得ています。

シャーシは最高の操従性能を得る為、ほとんどレーシングカーと同じレイアウトをとっていますがサスペンション等の耐久力には充分な注意がはらわれています。タイヤは前後バランスのとれた特性を示すよう配慮し、前述の通り前185/60V R13、後255/55V R14に設定しました。ショックアブソーバーにはフリクションの少ないカヤバ製ガスショックアブソーバーを使用しています。

安全性については事故を事前に回避する一次安全性を最も重視し、ブレーキ性能、ハンドリング等出来るかぎり車の動きがドライバーの意志に忠実に従うよう設計しました。

ルールを守って楽しいエンジン模型

- ラジコン飛行機・ボート・自動車及びUコン飛行機等を、飛行・走行 (走行) する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないように御注意下さい。
1. 早朝からエンジン始動はやめて下さい。
 2. 機体・船体・車体は完全に整備して、安全を確認して下さい。
 3. エンジンには必ず、消音効果のある「マフラー」(消音器)をつけて下さい。
 4. エンジン模型を楽しむ場合は、安全指導員の指示に従い、必ず助手をつけ、一人での飛行・走行 (走行) をしないよう御注意下さい。
 5. 一般民家や建造物の上空、及び人の頭上の飛行はやめて下さい。
 6. 高圧送電線の近くでは、ラジコン機・Uコン機の飛行は危険ですから、やめて下さい。
 7. 同時飛行・走行 (走行) の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って楽しんで下さい。

8. 他の人の飛行・走行 (走行) を邪魔しないよう御注意下さい。
9. 飛行場所・走行 (走行) 場所は必ず、きれいに掃除してから帰って下さい。
10. 1から9までの事項を良く守り、他の人の迷惑や事故を起こさぬよう注意しましょう。
11. エンジン模型を楽しむ方は必ず、ラジコン保険に加入して下さい。



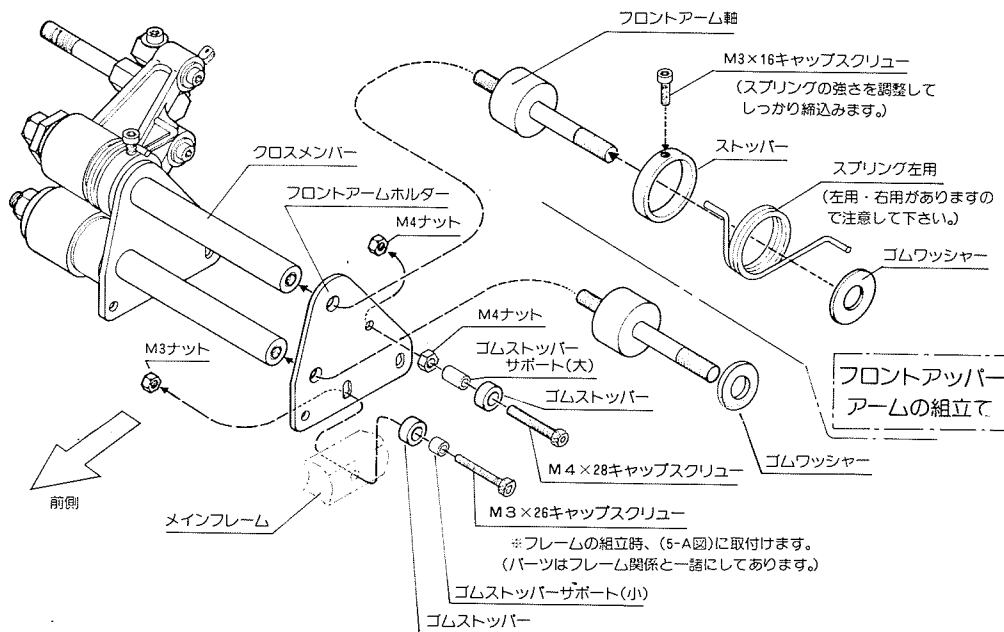
日本エンジン模型工業会

東京都台東区蔵前4-14-13昭和ビル内 ☎03-862-3148

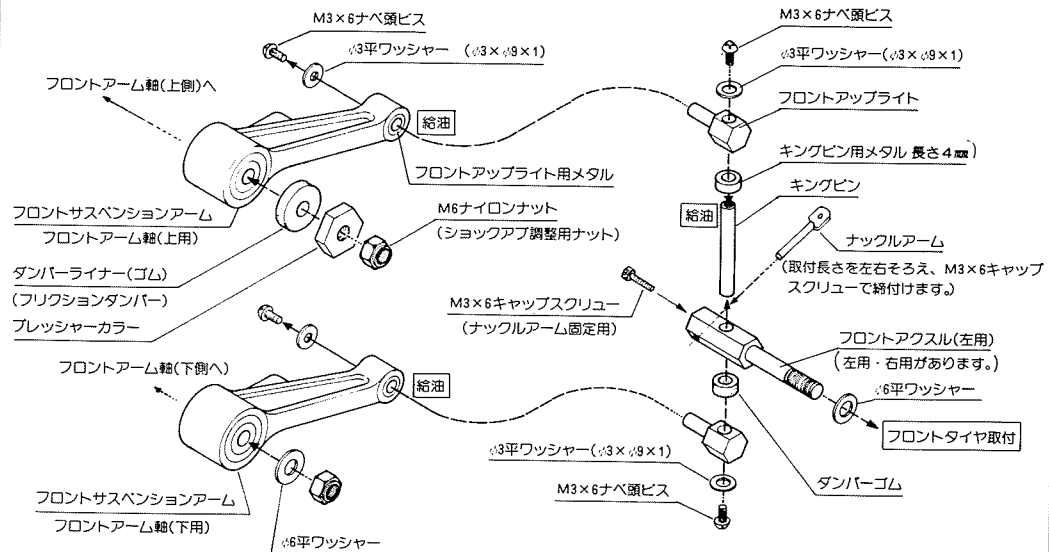
小物部品は組立て部分ごとにわけて袋にはいっています。
説明書にしたがって順序よく組み立てましょう。

① フロントアクスルの組立て

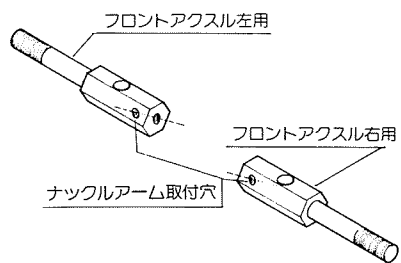
1-A 組立図 (分解図は左側を示しています。)



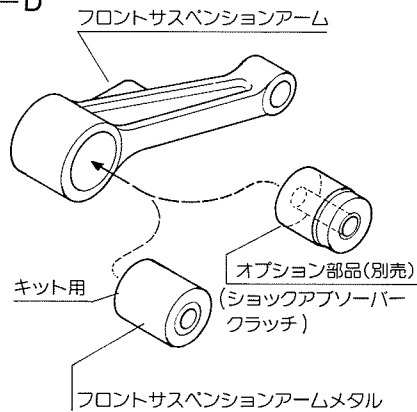
1-B (分解図は左側を示しています。右も同様に組立てます。)



1-C



1-D



- メカボックスの中からフロントアクスル部のパーツを取出します。
- イラスト図に従って各部を組み立ててください。
フロントアームホルダーはキングピンキャスト角を調整するため(15°~20°)長溝になっています。左右の角度をそろえて締付けて下さい。

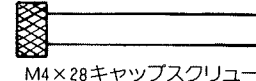
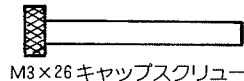
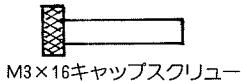
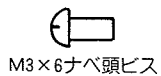
特記

- サスペンションにショックアブソーバー効果をもたせたい方はプレッシャーカラーを締込みスプリングを働かせない状態で適度なフリクションをもたせて下さい。
- フリクションの調整のあとスプリングを締めますが、フレームに取付けたあと行なうとよいでしょう。



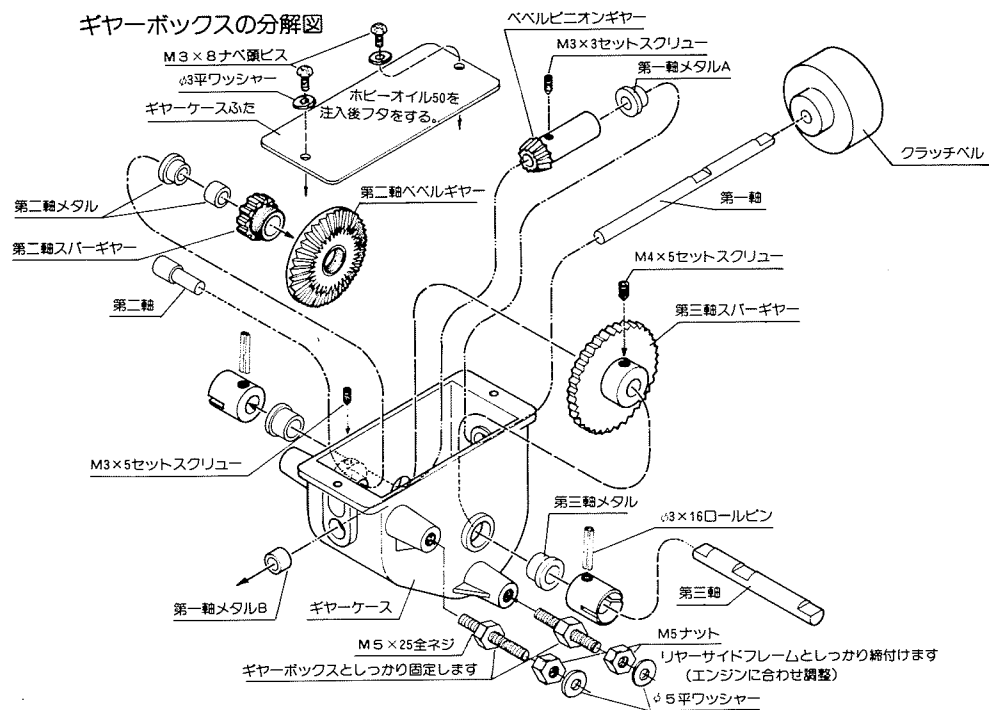
より走行性を高めたい方は、オプションパーツのフロント用ショックアブソーバークラッチ(別売)を御求め下さい。

実寸図

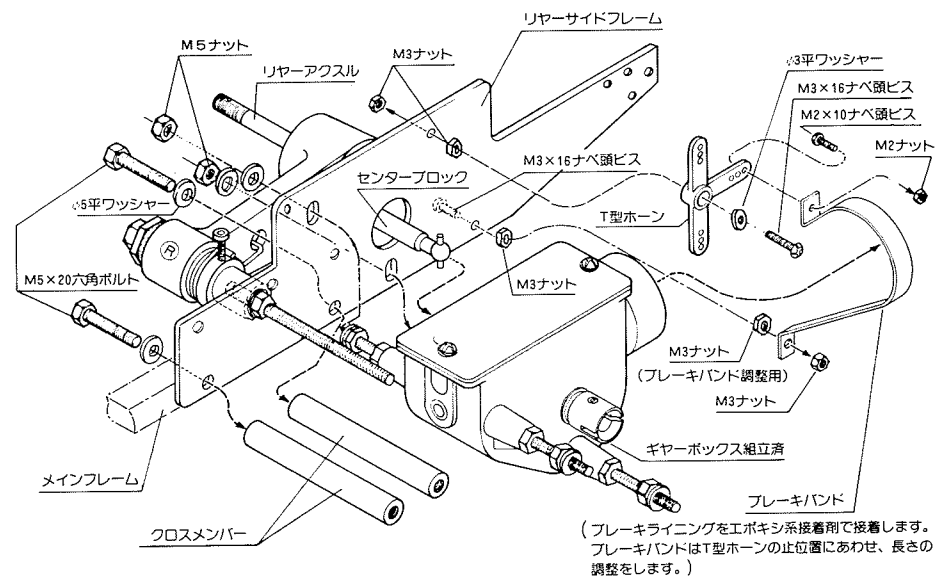


② リアアクスルの組立て

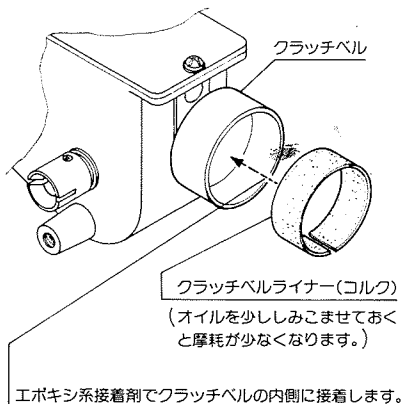
2-A



2-B



2-E



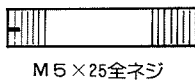
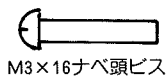
ギヤボックスは上記イラスト部品に加え、センターブロック、リアアクスルまで完成品となっています。

尚、走行前に必ず付属のホビーオイル50を5～10cc入れて下さい。

※ ホビーオイル50は、二硫化モリブデン(MoS₂)潤滑剤2%添加された、最高級オイルです。分解、手入れ後は必ずヒロボー、ホビーオイル50をおつかい下さい。

¥300 (50cc入)

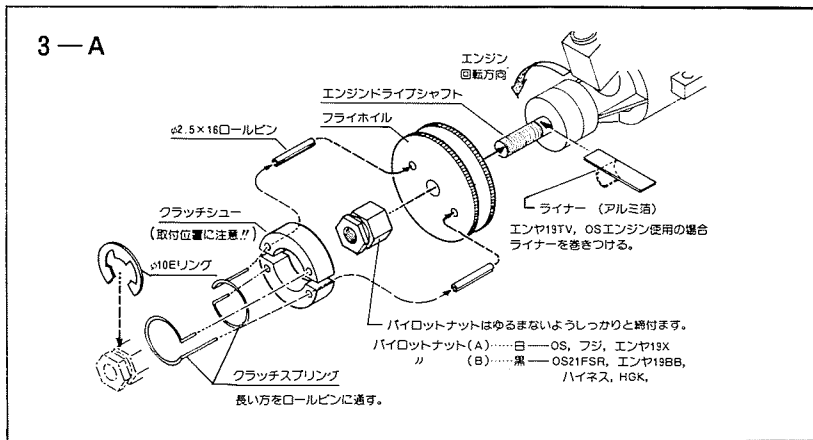
実寸図



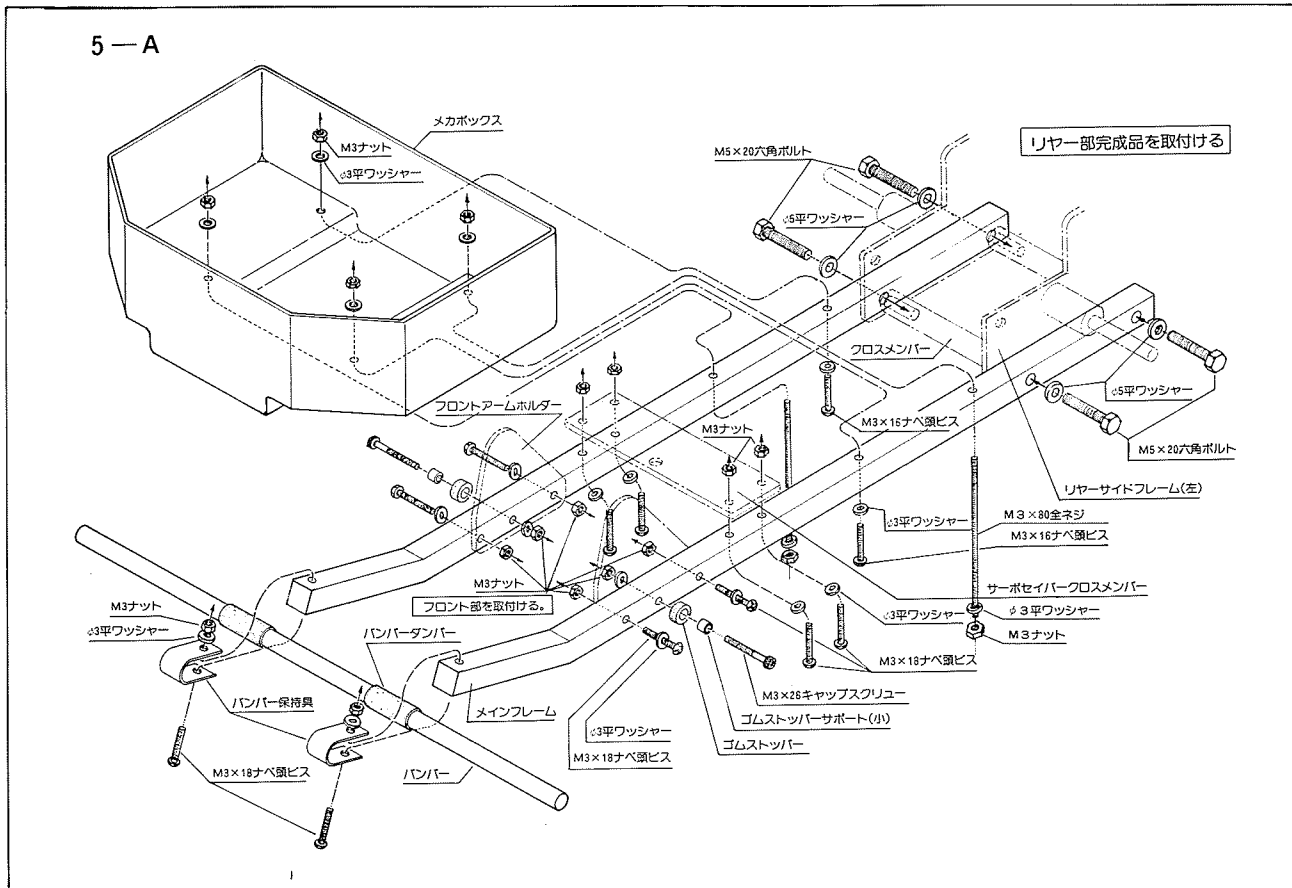
1. メカボックスの中からリアアクスルに必要なパーツを取り出します。
2. ギヤケースをリアサイドフレームに取付ける時はエンジンとのセンター出しがありますから仮止めしておきます。その時ポデー取付金具Bも一緒に付けておくとよいでしょう。
3. リアアーム軸はφ5キク座金を入れ、しっかりと締付けましょう。
4. 2-D図に従って、リアサスペンションアーム右、左をそれぞれ組立てます。リアサスペンションアームには、右用、左用(R.Lの表示)があります。
5. ギヤボックスの取付け。

ギヤボックスとリアサイドフレームの取付けは、M5×25全ネジで行います。まずエンジンの取付位置を決め、エンジンをエンジンベッドにしっかりと取付けます。(これが基準になります。) そのエンジン取付位置にあわせてギヤボックスのセンター出しを行います。ギヤボックスに取付くM5ナット(内側から2番目のナット)の巾がリアサイドフレームとの取付巾ですから、あらかじめクロスメンバーの長さにあわせておくと楽に調整ができるでしょう。次にエンジンとのセンター出しができましたら、リアサイドフレームの外側からM5ナットとφ5平ワッシャーでしっかりと固定します。

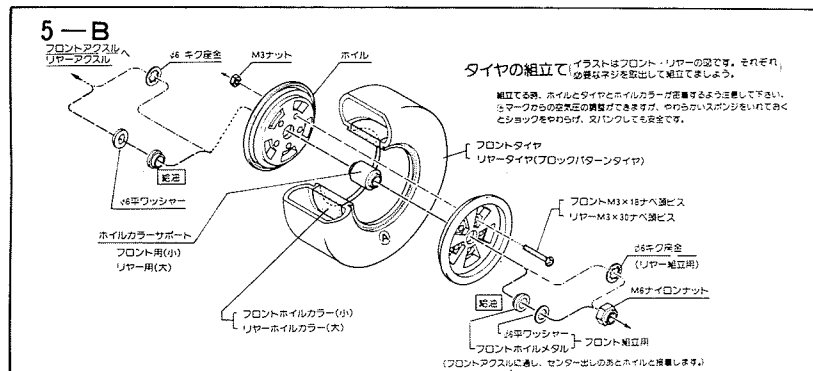
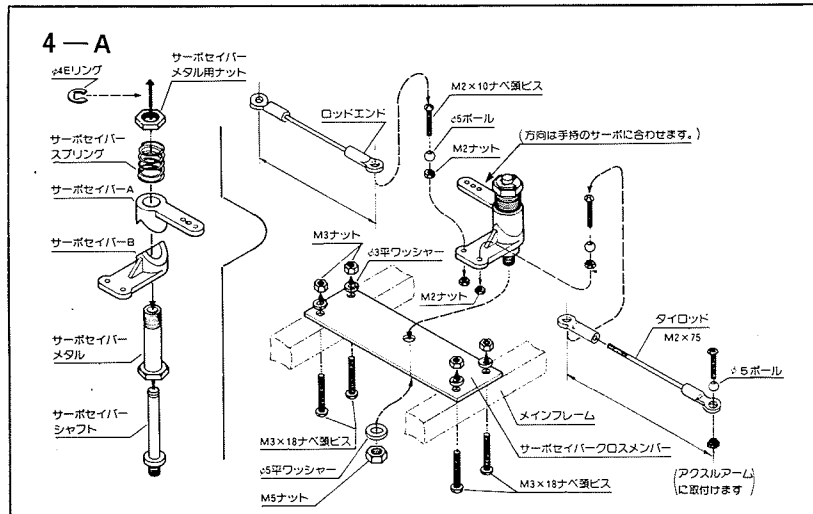
③ エンジン部の組立て



⑤ フレーム及タイヤの組立て



④ サーボセイバーの組立て

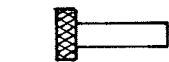


- ① エンジン3-A図組立のあと、リヤード部に取り付けますが、その時クラッチベルが軽く動くことを確認して、M3x12キャップスクリューとM3Uナットで、φ3xφ9x1の平ワッシャーを間に入れ締付けます。回転の重い場合は、ギヤボックス取付ネジをゆるめて調整します。(調整後、ギヤボックスの取付ネジはゆるまないようしっかりと締付けて下さい)
- ② 両方のタイロッドの長さを合わせ、サーボセイバーにM2x10ナベ頭ビスで取付ける。(4-A図)
- ③ 先に組立てたフロント及びリヤード部、サーボセイバー部、メカボックス、バンパーを図のように取付けます。それぞれの箇所は軽く動くことを確認してからしっかりと締付けます。(5-A図)

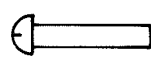
タイヤの取付け (5-B図)

フロントタイヤはM6ナイロンナットをいっぱい締込み約1/4回ゆるめたところにセットします。ガタがなくなめらかに回ればOKです。ホビーオイルをさしておきましょう。リヤードタイヤは走行中ゆるまないようにφ6キク座金をはめ、レンチなどでM6ナイロンナットをしっかり締込んでおきましょう。

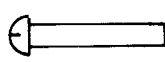
実寸図



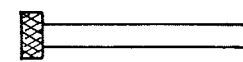
M3x12キャップスクリュー



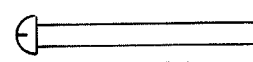
M3x16ナベ頭ビス



M3x18ナベ頭ビス

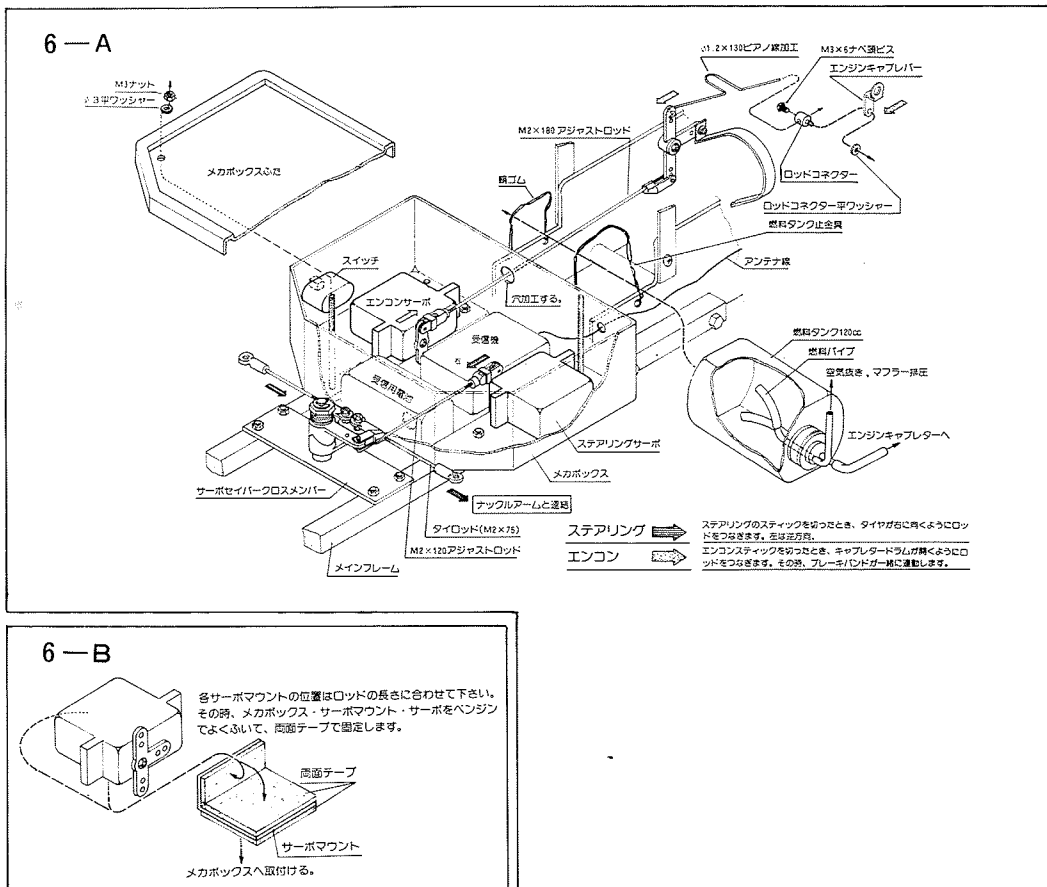


M3x26キャップスクリュー



M3x30ナベ頭ビス

⑥ メカ部の組み込み



① メカの搭載と作動

2chプロポの場合、ほとんどが2スティックで左側をエンジンコントロール、右側をステアリング用として使用します。だからサーボは左側のスティックで動く方をエンコン用、右側で動く方をステアリング用とします。また、スティックの横にトリムレバーという小さなレバーが付いていますが、これはサーボの動きを微調整するレバーですからアジャストロッドをいちいちゆるめないでも、このレバーで修正ができるわけです。

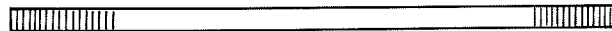
② ブレーキ、エンコンのセッティング

まずブレーキのセッティングをします。
送信機のトリム中間、エンコンスティック最スロー時に、ブレーキがきくようにします。ブレーキの強さはブレーキバンドとリヤサイドフレームの取付部でも調整できます。
次にスロットルのセッティングをします。
同上のスティック位置で、キャブレターのドラムが約1%くらいひらくようにロッドコネクターを取付けます。エンコンスティックがハイの時、キャブレターのドラムが全開することを確認して下さい。スロットルが不足しているときは、サーボホーンのロッド取付位置を外へ出して調整します。
また、エンコン用のφ1.2のピアノ線は図のように曲げ、スプリングの効果をもたせてやります。

実寸図

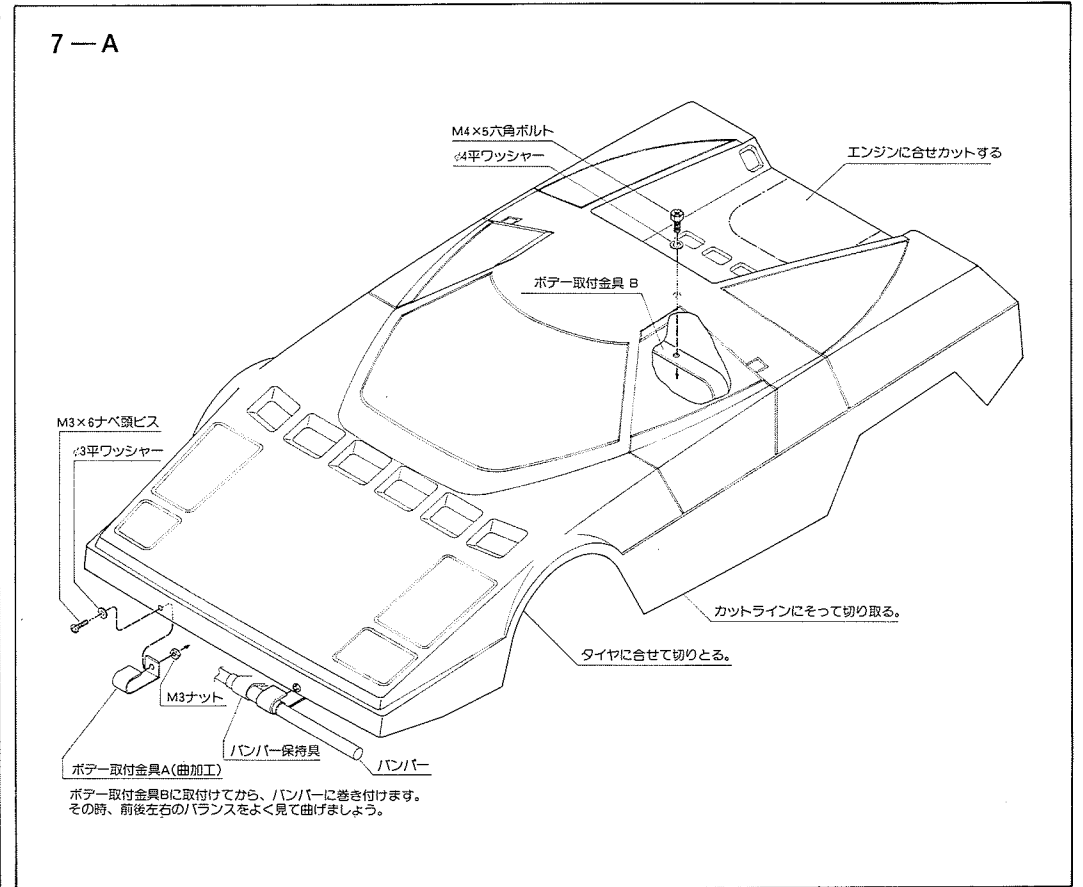


M3×6ナベ頭ビス



M3×80 全ネジ

⑦ ボディの取付及塗装



③ ボデーの塗装

塗装する前には洗剤でよく洗って下さい。塗装の前に必要な箇所のカット、穴あけはすべて終えておくようにしましょう。塗料はアクリル系カラーズプレーなどで塗って下さい。マスキングテープで好みのラインと特長を出すよりすばらしいものになるでしょう。カラーパッケージを参照下さい。

④ 走行調整

1. エンジンの始動は、ロープ、電動スターターで行ないます。
2. 走行前には必ずギヤボックスの中にホビーオイル50がはいっていることを確認して下さい。また、回転部分にはオイルの注入を忘れないよう行ないましょう。
3. エンジンには必ずエアークリーナー、ヒートシンクを付けて下さい。
4. 各部のネジにゆるみのないこと、メカが正確に動くことを確認して、エンジンを始動します。
5. 最初の燃料1〜2タンク分は中速以下で走行させて下さい。ギヤボックス、ギヤ、各軸受部などのならし運転のためです。
6. サスペンションのかたさは左右前後同じようにセットします。尚、ここで再度ネジのゆるみを確認しネジロック等を使用し、万全を期して下さい。
7. 走行後はゴミ、ホコリを取り去り、マシンの状態を最高に維持させましょう。

ヒロボーR Cハキ―童夢ZERO、をお買上げいただき誠にありがとうございました。キットの内容及び数量については、十分な検査を致しておりますが、念のため各部品小袋内の数量確認を行なって下さい。

万一不足のあった場合はお手数ですがそのままお買上店又は弊社まで御連絡下さい。



ヒロボー株式会社

広島県府中市府川町234 〒726 ☎(0847)45-3470
HIROBO INDUSTRIAL CO., LTD.
234, Fukawa-cho, Fuchu-shi, 726, Hiroshima, Japan.
Cable: Hirobo Fuchuhiroshima Telex: 6457-77 Hirobo



検査